

激励のことば

～令和3年度全国高等学校総合体育大会に出場する選手の皆さんへ～

令和3年度全国高等学校体育大会「輝け君の汗と涙 北信越総体 2021」に、山口県を代表して出場する選手の皆さん、出場おめでとうございます。

さて、2年ぶりとなる今年のインターハイは、「走れ 北信越の大地を とべ 北信越の大空へ」のスローガンのもと、7月24日（土）から福井県を中心に新潟県、富山県、石川県、長野県及び和歌山県で開催されます。全国47都道府県から多くの高校生アスリートが集い、30競技で高校日本一をかけた戦いが繰り広げられます。

皆さんの多くは、「実現させたい夢がある～相手を敬い、本気の勝負 今、開幕～」のスローガンのもと開催された、山口県高等学校総合体育大会等において、全国大会への出場権を獲得されました。昨年度中止となり、無念の涙を流した先輩たちの思いを引き継ぐとともに、仲間と一丸となってインターハイ出場という共通の目標に向かい厳しい練習に取り組んでこられたことと思います。いよいよあこがれの夢の舞台に立つときが来ました。皆さんがこれまで培ってきた力と技を思う存分発揮し、最高のパフォーマンスを見せてくれることを期待しています。そして、その一瞬一瞬が皆さんの生涯にわたる貴重な財産になるとともに、これから世界にはばたくための大きな第一歩となり、皆さんの中から世界の大舞台で活躍する選手が出てくることを願っています。

本大会の開催にあたり、北信越5県の高校生をはじめ大会関係者の皆さんが長い時間をかけて準備をされてきました。また、新型コロナウイルス感染防止策を施すなど、安心・安全な大会運営に向けた関係者全員の熱意により支えられています。どうか、選手の皆さんは、競技に集中出来ることを当たり前と思わず、感謝の気持ちをしっかりと胸に抱いて、残念ながら応援や観戦に来られない人たちにもその思いが届くよう、さらには大会関係者の皆さんにも感謝の気持ちが伝わるよう、最後の最後まで全力で戦い抜いて欲しいと思います。山口県代表としての誇りを胸に、選手のみなさんが躍動し、11競技32種目で入賞を果たした「感動は無限大 南部九州総体 2019」の成績を上回り、全員の笑顔が、北信越各地の夏空に咲くことを、心より期待します。

終わりにになりましたが、愛情と情熱をもって日々選手を御指導いただいております学校関係者並びに競技団体の皆様に深く感謝を申し上げます。

山口県を代表する選手の皆さんの健闘を祈ります。

令和3年7月吉日

山口県高等学校体育連盟
会長 原 井 進